



てらるる



2025年
3月
No.927

■発行所 ■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <https://jelc.or.jp/>
■E-mail ■ jelc@jelc.or.jp

■発行人 ■ 竹田大地 koho@jelc.or.jp
■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社
■定価 ■ 1部 40円(郵税を含む)
■振替口座 ■ 00190-7-71734

説教 「人間イエスの十字架に倣う」

日本福音ルーテル都南教会牧師 立山忠浩

「昼の十二時になると、全地は暗くなり、三時に及んだ。三時にイエスは大声で叫ばれた。「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになつたのですか」という意味である。」

「しかし、イエスは大声を出して息を引き取られた。」(マルコによる福音書15:33~34, 37 聖書協会共同訳)



教会の暦は主イエスの十字架を覚える四旬節に入ります。十字架のことは誰でもよく知っている出来事です。確かにそのために十字架に架かつてくださったことをみんな知っています。ですから、神の子キリストだからこそなし得てくださったことに思いをはせ、私たちはみんな感謝しなければなりません。ただ私はここでは「神の子キリスト」と言うよりも「人間イエス」に目を注ぎたいのです。

十字架のことは、それぞれの福音書で異なつた描き方をしていることは周知のことですが、人間イエスの視点を大切にしたのはマルコによる福音書です。それを最も適切

に表現した出来事が「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになつたのですか」という十字架の絶叫です。それは対照的に、最も感謝の思いに浸れるのは「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか分からな

いのです」というルカによる福音書の言葉です。十字架の苦しみの絶頂にあつても、自分を十字架につけた者たちのことをおもひばかつた姿は私たちの心を打ちます。それに比べると、この叫びの言葉は耳を閉じたくなるのです。詩編22編の言葉だと言われますが、神への呪いの言葉にどうしてもイエスの不信仰を見る思いがするからです。

でも私は何回もこの言葉に向き合う中で、自分の読み方が浅はかであることに気づかされてきました。確かに苦痛に耐えきれず、死を前にした絶望の叫びは神への信仰を失つたかのように聞こえます。でもその呪いの声は「わが神、わが神」という言葉からも分かるように、神に向けられたのでした。本当に信仰を失つたのであれば、「わが神、わが神」とは呼ばないからです。だから信仰者イエスの叫びだつたように私には思えるのです。

このことは私たちが同じではないでしょう。不信仰な呪いの言葉を吐くことがある。神の沈黙に絶望し、嘆きたくなることもあり。でもその思いを神に向けることが重要ではないかと思ふのです。それは深い信頼がなければ起こりません。人間イエスの叫びは、私たちが倣うべき真の信仰者の姿だつたのです。

イエスは絶叫の後に「息を引き取られた」とも記されています。何げない言葉です。しかしあの時、「息を引き取る」とは、いったい誰が息を引き取つたのだろうかという疑問が頭をもたげました。死んだイエスが自分で引き取つたはずがありません。私たちは誰かの死を「息を引き取つた」と言い方をしながら、「では誰がその息を引き取つたのか」ということを問うことなく用いていることに気づいたのです。

福音書を確かめました。いずれの福音書も「イエスは…息を引き取られた」と訳されていますが、原語は必ずしも同じではありません。ただ「息を離した」とか「息を引き渡した」という意味を持つことでは共通しています。ですから「神に息を引き渡した」と解釈して訳すことが良いように私には思えたのです。そうすると見えて来ることがあります。



十字架上のキリスト (フランシスコ・デ・スルバラン・1627年)

創世記の人の誕生の物語では、人の命は「神の命の息を吹き込まれる」(2・7)ことで始まつたと教えています。クリスマスの物語もそうです。イエスは神の祝福をお祈りいたします。

人間の命は「自身の十字架を忍び、息絶えるまでのありのままの姿をお示しになること、私たちの死もこれと同じであること」を教えてくださったのです。ですから、自分の人生が神の息を注がれることで始まつたことを忘れず、人生を精いっぱい生きて後は、預かつた息を感謝を込めて神にお返しするのです。イエスに倣う人生に神の祝福をお祈りいたします。

「暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、我らの歩みを平和の道に導く。」

ルカによる福音書1:79

「覚えてますか？ 私のこと。」突然連絡が来ました。その人は数十年前にお会いした方で、その時その人は10代でした。10代で突然脳の血管が詰まり倒れてしまい、気がついた時は半身が動かない状態で病院のベッドにいたそうです。その人が機能回復のため入院されておられたりハビリ病院で出会いました。「忘れるわけじゃないじゃん」と返事をしながら、ふと思ひ出したことがありました。

それは一緒に入院しているころ、2人で病院の庭に生えていた木々を眺めながら、その人がボソリと「普通になりたい。」と言われたのです。えっ…。私は言葉に詰まりながらも「普通は標準じゃないよ。自分自身が普通だから、人の数だけ普通はあるよ。」と言いながら自分に言い聞かせたことを思い出していたのです。今ではその人は結婚をされ家庭を築かれておられます。

私だけではなくて、一人一人がいろいろな悲しいことやうれしいことを経験します。それら一人一人にとつて特別なことで、新しい出会いです。お一人お一人とつて普通なのです。決して他の人や出来事と比べるものではありません。普通は、二つの標準的なことではなくてお一人お一人が経験するであろうたくさんのお一人お一人の二つ二つなことです。

伊藤早奈



リレコラム

「全国の教会・施設から」②②



日本福音ルーテル 田園調布教会

田島靖則

(日本福音ルーテル田園調布教会・雪戸谷教会牧師)

「田園調布教会のバイリンガル礼拝」

ちょうど1年前、礼拝にナイジェリアのご家族がいらつしやいました。ご夫妻は大使館のお仕事とビジネスのために駐日して...



ナイジェリア人ご家族と田島靖則牧師

無料の翻訳プログラムを用いて英訳した原稿を手渡していました。

しかし、せっかく礼拝に来てくださるのに、それだけでは不十分だと感じ、思い切って対訳の礼拝式文を作成することにしました。

礼拝は全て日本語のままで、式文のページ数や聖書箇所を英語でアナウンスすることで、彼らは日本語で何が歌われ読まれ、唱えられているのかを...

祈りはページ数を英語でアナウンスすることでも、ご家族への配慮も、ご家族への配慮も、ご家族への配慮も...

がLBWに収録されているわけではないのです。

時間的余裕もありません。しかしご家族はスマホの翻訳アプリを用いて日本語の歌詞を英訳して理解されているようです。

知っている曲は、暗譜と一緒に歌います。こうしてわか作りのバイリンガル礼拝を続けています。

ルーテル学院中学・高等学校

野口和音 (ルーテル学院中学・高等学校チャプレン)

本校は、元々「九州女学院」という名称であり、今なお多くの卒業生の方々に愛されている名称である。九州女学院の設立に際し、アメリカで行われた募金活動のことを思い起こす。

ある。

当初、アメリカでは本校の名前を「ジャニス・ジェームズ・スクール (JANICE JAMES SCHOOL)」と定めていたが、ここにも一つのエピソードがある。

1914年に生まれたジャニス・ジェームズという女の子は、幼くして信仰と愛に富む子どもだった。ある時日本で行われている伝道の話聞いて、彼女は「自分は大きくなつたら日本人々の宣教のために一生をささげたい」と神と両親に向かつて誓ったのである。

突然召天してしまうのである。ちょうどその時行われていた日本に女学校を建てるための計画を耳にしたジャニスの両親は、亡き娘の望みにそう神が定めた計画に違いないと信じ、多額の寄付を行うに至った。

改 宣 教 宣 室

「新傳道開始宣言 福音ルーテル教會 設立の趣意」発見される

永吉秀人 (日本福音ルーテル東京池袋教会牧師・総会議長)

1928年(昭和3年) 5月11日(金)付「山梨日

零囲気を守り続けているのではないかと思う。毎朝、共に祈ることから一日を始めます。

「ルーテル教会はキリスト教における、世界の改革の勇者マルチン・ルーテルがローマ教会の殻の中に、固く封じ込まれて居たキリスト教を、敬虔な信徒に向つて解放し、キリスト教本来の面目を、再び発揮させたその日から始つたものであります。



河島龜三郎氏肖像

目的であります。キリスト教会と名づくるものは数多くあり、その運動の形は様々であり、各々の使命に向つて、いそしんで居るのであります。

我が福音ルーテル教会は、キリスト教の精髓たる、福音の本領を發揮して、キリスト教が真に世界に卓越せる宗教なる事を論証するのみならず、純朴なる信仰の徒が、神の前にいかに価高き宝として、うけ入れられるかといふ、敬虔の奥義を鮮明する事において、最も勝れてる事の確信を持つ者で、これは我々の喜びであり、また感謝であります。

思ふにキリスト教の様に高潔にして、又他面豪放な宗教こそ、現下の様な多事患難な社会の動搖を鎮め、健全な将来を築く基準として、最も適した物で、社会の不安、混乱を憂ふるの士は、自ら進んでこれに聞き、之を信じて、難に処するの、むしろ責任と信じるのであります。

一方又なやみにあり、困苦にあるの人は、来つて福音の泉にいこひ、その魂のつかれをいやされる事をお勧めいたします。 そのために我々は、定期集会を催して、キリスト教の内容を公開し、日曜学校を開きて、児童の宗教教育を行ひ、又信仰上の読み物を提供して居ります。



ルーテル学院中高チャペル

2001年に共学化、ルーテル学院中学・高等学校と改名し、来年2026年には100周年を迎える本校にあつて、その礼拝堂は、今なお当時の



新聞記事原稿

※漢字表記は常用漢字に修正しています。

世界の教会の声

浅野直樹 Sr.

（日本福音ルーテル市ヶ谷教会牧師
世界宣教主事）

宗教間の関係における 信頼と尊敬の構築

—ブンミ、ヤルポン監督 インタビュー—

（タイルーテル教会）①

ヤルポン監督はキリスト教徒になったことで当初家族と地元社会との断絶を経験しますが、長年にわたる牧会のなかで地域の伝統的価値を大切にすることが、かえって教会の成長にもつながることになりました。ヤルポン監督は、希望と正義をもたらす教会の働きについて語っています。インタビュー記事は毎月と来月2回にわたって紹介します。

「キリスト教信仰に導かれたきっかけを教えてください。」
ヤルポン 両親も祖父もも仏教徒で、特に父親は仏教寺院で仕事をしてきたこともあり、私は宗教のことも死んだらどうなるかについて父から学びました。父はまた伝統的な治療師でした。私は16歳のときに大病を患い、多くの医者に見てもらっても良くならずでした。そんなときノルウェーのルター派のミッション団体との出会いがあり、宣教師から生活改善とからだのケアについて教えを受けました。教会とつながり始めてから新しい環境でそれを実践してみたいところ、少しずつ元気になるようになりました。この経験から私はキリスト教になりました。1994年に神学校で神学を学びましたが、その頃はまた牧師になることは考えていませんでした。自分で事業を手がけていたからです。けれども一方ではキリスト教信仰をもっと知りたいという思いがありました。神学校で妻との出会いがあり1998年に結婚二人そろって神学校を卒業し教会に派遣されました。教会は大都市にありましたが、ルーテル教会はともな小規模な教会で、信徒の数は20名ほどでした。事業は手放し、家族を養いながら牧会に専念することにしました。それ以来私たちは教会に仕えています。退屈したことは一度もありません。

社会委員会第4回オンライン学習会 報告「沖縄の視点で聖書を読む」

秋山仁

（日本福音ルーテル豊中教会・
神戸東教会牧師・喜望の家
代表・社会委員会委員）

1月22日（水）午後7時から、社会委員会主催の第4回オンライン学習会が開催されました。今回のテーマは、「沖縄の視点で聖書を読む」ということでした。今回は140名いて、とても生き生きとしています。

「キリスト教信仰と教会で仕事をするようになって、両親の反応はどうでしたか？」

ヤルポン 何世代にもわたり仏教徒の家族です。から、「お前はもう息子ではない」と父に言われまわした。村では私が最初のクリスチャンです。若かったこともありますが、異なる信仰をもつのは大変でした。村長からは村を離れたらどうかと言われていました。けれども今は家族との関係は良くなりました。親の言うことを聞かずに飲んだくれて音楽をガンガン鳴らすという青年時代でしたから、両親はクリスチャンになってからの私の変化に気づいたのです。その後、家族の多くがクリスチャンになりました。

「信徒数20人では牧師の給与を出すには少な過ぎると思いますが。」

ヤルポン 今では信徒数は100名になりました。礼拝出席者数は毎週40名ほどです。教会学校

https://lutheranworld.org/news/thailand-building-trust-and-respect-interfaith-relations

「東海教区青年会・外国人メンバー クリスマス会報告」

徳弘浩隆

（日本福音ルーテル高蔵寺・
復活・浜名教会牧師・
東海教区外国人宣教担当）

2024年12月7日に東海教区青年会・外国人メンバークリスマス会をしました。多地区のメンバーと出会うため、他行事も含めるとこの数年、岐阜、高蔵寺、浜松、新霊山などで集まってきました。プラジル、インドネシア、ベトナム、スリランカ、中国、ナイジェリア出身のメンバー

「東海教区青年会・外国人メンバー クリスマス会報告」

です。今回は予定調整も手間取り、復活教会を会場に少し小さな集まりでしたが、会場教会からの差し入れも頂き、新しい青年や支援者家族も含めて楽しい会でした。礼拝、縦読み日本語自己紹介や、パエリアやローストチキン、いなりずし、ケーキなどを楽しみ、ビンゴやプレゼント交換もして交流しました。

その後の広がりも少し報告します。都合で来られなかったミャンマー家族

「東海教区青年会・外国人メンバー クリスマス会報告」

徳弘浩隆

（日本福音ルーテル高蔵寺・
復活・浜名教会牧師・
東海教区外国人宣教担当）

2024年12月7日に東海教区青年会・外国人メンバークリスマス会をしました。多地区のメンバーと出会うため、他行事も含めるとこの数年、岐阜、高蔵寺、浜松、新霊山などで集まってきました。プラジル、インドネシア、ベトナム、スリランカ、中国、ナイジェリア出身のメンバー

「東海教区青年会・外国人メンバー クリスマス会報告」

です。今回は予定調整も手間取り、復活教会を会場に少し小さな集まりでしたが、会場教会からの差し入れも頂き、新しい青年や支援者家族も含めて楽しい会でした。礼拝、縦読み日本語自己紹介や、パエリアやローストチキン、いなりずし、ケーキなどを楽しみ、ビンゴやプレゼント交換もして交流しました。

その後の広がりも少し報告します。都合で来られなかったミャンマー家族

「東海教区青年会・外国人メンバー クリスマス会報告」

徳弘浩隆

（日本福音ルーテル高蔵寺・
復活・浜名教会牧師・
東海教区外国人宣教担当）

2024年12月7日に東海教区青年会・外国人メンバークリスマス会をしました。多地区のメンバーと出会うため、他行事も含めるとこの数年、岐阜、高蔵寺、浜松、新霊山などで集まってきました。プラジル、インドネシア、ベトナム、スリランカ、中国、ナイジェリア出身のメンバー

「東海教区青年会・外国人メンバー クリスマス会報告」

です。今回は予定調整も手間取り、復活教会を会場に少し小さな集まりでしたが、会場教会からの差し入れも頂き、新しい青年や支援者家族も含めて楽しい会でした。礼拝、縦読み日本語自己紹介や、パエリアやローストチキン、いなりずし、ケーキなどを楽しみ、ビンゴやプレゼント交換もして交流しました。

その後の広がりも少し報告します。都合で来られなかったミャンマー家族

「東海教区青年会・外国人メンバー クリスマス会報告」

徳弘浩隆

（日本福音ルーテル高蔵寺・
復活・浜名教会牧師・
東海教区外国人宣教担当）

2024年12月7日に東海教区青年会・外国人メンバークリスマス会をしました。多地区のメンバーと出会うため、他行事も含めるとこの数年、岐阜、高蔵寺、浜松、新霊山などで集まってきました。プラジル、インドネシア、ベトナム、スリランカ、中国、ナイジェリア出身のメンバー

「東海教区青年会・外国人メンバー クリスマス会報告」

です。今回は予定調整も手間取り、復活教会を会場に少し小さな集まりでしたが、会場教会からの差し入れも頂き、新しい青年や支援者家族も含めて楽しい会でした。礼拝、縦読み日本語自己紹介や、パエリアやローストチキン、いなりずし、ケーキなどを楽しみ、ビンゴやプレゼント交換もして交流しました。

その後の広がりも少し報告します。都合で来られなかったミャンマー家族

「東海教区青年会・外国人メンバー クリスマス会報告」

徳弘浩隆

（日本福音ルーテル高蔵寺・
復活・浜名教会牧師・
東海教区外国人宣教担当）

2024年12月7日に東海教区青年会・外国人メンバークリスマス会をしました。多地区のメンバーと出会うため、他行事も含めるとこの数年、岐阜、高蔵寺、浜松、新霊山などで集まってきました。プラジル、インドネシア、ベトナム、スリランカ、中国、ナイジェリア出身のメンバー

「東海教区青年会・外国人メンバー クリスマス会報告」

です。今回は予定調整も手間取り、復活教会を会場に少し小さな集まりでしたが、会場教会からの差し入れも頂き、新しい青年や支援者家族も含めて楽しい会でした。礼拝、縦読み日本語自己紹介や、パエリアやローストチキン、いなりずし、ケーキなどを楽しみ、ビンゴやプレゼント交換もして交流しました。

その後の広がりも少し報告します。都合で来られなかったミャンマー家族



辺野古基地建設前での座り込み活動
軍用車両が行き交う沖縄の一般道

引退教職 挨拶

「支えられた日々」 中島康文



25年前、帯広教会から市川教会へ、家族と共に車を走らせて着任しました。最初の感想は、「ただいまー」でした。神学生の頃に一番長くお世話になったのが市川教会でした。神学生の時、田園調布教会、東京教会、インターンは名古屋の復活教会、皆さまが温かく迎え育ててくださいました。



内藤文子

多くの方々のお支えとお祈りにより、今日まで歩んで来られました。これまでを振り返り、神様と皆さまへ感謝をささげます。

「引退のごあいさつ」 平岡仁子



最初の任地黒崎教会（現在は解散）に、着任直前に結婚式を挙げ、若くして亡くなった故田後二牧師の墓に牧師になれたことを報告して向かいました。4年間の働き、2年間は直方教会との兼任でした。次の任地は帯広教会、南から北への大移動途中で市川教会の故田財克成牧師宅に泊めて頂き、帯広へ向かいましたが、13年後に、まさに「ただいまー」となつたのでした。帯広教会では、最後の4年間に池田教会と釧路教会を兼任いたしました。

夫、新五郎牧師と共に、1991年按手を受け、夫婦教職となりました。同居して、一方が通う、また単身赴任など、いろいろな居住形態で、牧会を務めました。1995年に、息子を産み夫と共に子育てを経験しました。

着任した教会は、柴田・岡崎・刈谷・栄光・小岩、思

い出に残ることをいくつかわかせて頂き、また長野教会・小岩教会・津田沼教会もそれぞれ1年間兼任いたしました。気が付けば25年間、市川教会の皆さまの忍耐に支えられた日々であったと感謝しています。

最後にになりましたが、送り出して下さった久留米教会の皆さま、牧師館に共に住み支えてくれた家族に心から感謝しています。

①子育ての集いでは、教会を会場に、孤独になりがちな密着育児の親子たちの交流を行い、たくさんの方の企画を実践しました。

②コロナ禍における礼拝牧会の厳しき、無力さを経験。特に高齢者の方と面談。面会でできないのが残念でした。文書伝道でいかにわかりやすく主の恵みをお伝えするか考えました。3年ぶりに初めてお会いした教会員と祈ることができたことは感激でした。

③東海教区で経験した「複数共同牧会」。複数の教職で牧会上の共同態勢をなしてゆくチームミッションの実りを経験。教職同士の関係・交流がとても大切と感じました。

その間、アメリカ福音ルーテル教会（ELCA）のご支援により、2011年にGordon W. Lathrop博士が来日し「Renewing Worship」について、講演を頂き、また、2018年にはELCA牧師であり音楽家であるRobert Fink氏から、ルーテル神学校と東京神学大学の学生と一緒に学ぶ機会を得たことは本当に感謝でした。

夫平岡正幸は天に召され、子どもたちは立派に成長した人生を今振り返って見れば、ただただ憐れみ深い神を仰ぎ見るばかりです。21年の牧会となった保谷教会をはじめ、皆さまへの感謝と共に。

立山忠浩

大学の工学部を卒業する頃に、故小泉潤牧師を通して牧師への道を意識

し始めていた私は、神学校を受験する決断ができず、2年間橋梁（きょうりょう）の設計と施工を手がける会社に就職しました。福音書にあるようなイエスの招きの声を守つたためでしたが、聞こえることにはありませんでした。仕方なく、2年間牧師への思いが消えなければ、イエスの声が聞こえなくても「招きの声」と受け止めることを祈りの中で決断し、受験したのでした。

1985年に按手に与り、4つの教会（宇土・松橋・三鷹・東京池袋・都立）での説教・牧会を任せられ、神学校の奉仕も託されました。40年間を振り返ると、失敗したことや足りなかつたことがより、脳裏に浮かびます。主の赦しと憐れみを祈るしかありませんが、それでも感謝の方

がはるかに優る年月だったことは確かなことでした。

よき信徒に助けられ、信頼できる同僚者にも恵まれました。聖書を読む厳粛さと楽しさを教えていただいた先輩教師たち、特に故小川修先生には感謝の言葉しかありません。そしてこの間をずっと支えて励ましてくれた家族は私のかけがえのない宝となりました。

最後にになりましたが、皆さま、ありがとうございました。

九州教区青年会 修養会報告

重富光

9月22日〜23日にかけて、ティーンズと青年の合同キャンプ「Big Love」が箱崎教会にて行われました。

今回のキャンプは、コロナウイルス感染症が5類になったことを受け計画いたしました。青年会に所属する青年を中心に春頃

からプログラムについて話し合いを重ねました。以前のようなティーンズと青年の対面活動を増やし、教会に集う若い人たちがいるということを実感し、神様のことをよりフランクに話せることの楽しさや喜びを実感してほしいという思いのもとプログラムを行いました。

その後、モスクの見学などの体験型の学習や、賛美やグループでの話し合い活動を通してティーンズを中心に神様のことを話したり、考えたり祈ったりする機会を持つことは喜びでした。アイスブレイクのゲームは大いに盛り上がり、夕方のテゼでは雰囲気

がガラッと変わり、静かな空間の中で気持ちを合わせ、賛美をいたしました。子どもたちは自由時間に行ったボードゲームが楽しかったようです。ボードゲームを青年とティーンズが頭を使いながら共にする時間も親睦を深める良い機会となったと感じています。

ティーンズたちは皆よく考えてこちらの動きにもよく気遣ってくれ、共に過ごす中で助けられた場面も多くありました。聖書について神様についてティーンズや青年とが思いを分かち合い、神様の愛を再確認することができました。

また、皆が無事にこのキャンプを終えられたのは皆さまの祈りのおかげです。会場を貸してくださつた箱崎教会の皆さまを始め、たくさんのお支え、祈りに覚えてくださりありがとうございました。

2024年度「連帯献金」報告

2024年度も多くの皆様から「連帯献金」に対しましてご支援を頂きました。感謝してご報告いたします。（敬称略・順不同、複数回の献金もまとめての報告となります。）

- パレスチナ支援エルサレムプログラム 1,085,751円
大阪教会、日吉教会有志、藤が丘教会、シオン教会防府礼拝所、古屋四朗、福岡西教会、博多教会、シオン教会徳山礼拝所、東京教会、箱崎教会、東海教区青年と外国人、復活教会、賀茂川教会、九州学院、三鷹教会、修学院教会、藤田光江、東郷優子、札幌教会、大岡山教会、むさしの教会、国府台母子ホーム、ニコニコ学童クラブ、クリスマス礼拝席上献金、聖パウロ教会、大岡山教会学校、湯河原教会、天王寺教会、宣教フォーラム委員会、女性会連盟、京都教会、福岡市民クリスス実行委員会、女性会連盟東教区女性会、帯広教会、合志教会、健康教会、蒲田教会、日吉教会
- LWFウクライナ支援 844,673円
九州ルーテル学院、九州学院、関西地区宣教協議会、村上雅江、都南教会教会学校、都南教会、小山茂、聖パウロ教会、秋吉英理子、湯河原教会、東郷優子、日田教会、女性会連盟（世界祈禱日）、宣教フォーラム委員会、女性会連盟、東京池袋教会、箱崎教会女性会、雪ヶ谷教会、京都教会、小岩教会、田園調布ルーテル幼稚園、藤が丘教会、田園調布教会、蒲田教会、日吉教会
- 能登半島被災地支援 3,096,188円
沼津教会、仙台教会宮町礼拝堂、神水教会、保谷教会、東京池袋教会、札幌教会、シオン教会防府礼拝所、村上雅江、帯広教会、岐阜教会、佐藤重子、松江教会、市川教会、小山茂、東教区総会席上献金、羽村教会、大分教会、千葉教会、大岡山教会、京都教会、栄光教会、聖パウロ教会、二日市教会、浜松教会、賀茂川教会、三鷹教会、西宮教会、西条教会、高蔵寺教会、小鹿教会、修学院教会、復活教会、下関教会、大垣教会、名古屋めぐみ教会、天王寺教会、蒲田教会、大阪教会、むさしの教会、日田教会、石田宏美、東京教会、大森・横須賀、蒲田教会合同修養会、古屋四朗、ジェームス・サック、キャロル・サック、シオン教会柳井礼拝所、シオン教会徳山礼拝所、シオン教会六日市礼拝所、甘木教会、宣教フォーラム委員会、なごや希望教会、恵み野教会、八代教会、都南教会、神戸教会、松本教会、孝母教会、長野教会、田園調布教会、名古屋めぐみ教会女性会、藤が丘教会女性会、セント・ルカ産婦人科、甲府教会、静岡教会、札幌教会札幌北礼拝堂、掛川教会、掛川教会、掛川教会、健康教会教会学校本校、室園教会、藤が丘教会、清水教会、横須賀教会、市ヶ谷教会、久留米教会、日善幼稚園、九州ルーテル学院ルーテル学院中学高等学校、岡山教会女性会、合志教会、福岡西教会、熊本教会、匿名献金
- その他世界宣教 90,200円
千葉教会、箱崎教会（謝美歌演奏機献金）、箱崎教会（らぶびコンサート席上献金）

今年度も、社会・世界における福音の宣教、奉仕、戦争、災害、飢饉に苦しむ方々に連帯したいと祈ります。「連帯献金」をお捧げくださる際には、それぞれの献金目的（LWFパレスチナ支援エルサレムプログラム）LWFウクライナ支援（能登半島被災地支援）[喜望の家] [その他世界宣教]を郵便振替用紙に明記頂き、下記の郵便振替口座にご送金ください。

郵便振替 00190-7-71734
加入者名 (宗)日本福音ルーテル教会